

地域協働学校に取り組むことで

- ①よりよい学校づくりに向けて、学校と保護者、地域の皆さんと協議することができます
- ②さまざまな視点から知恵を出し合い、実行することで、学校を活性化することができます
- ③学校の取り組みを知ることで、より多くの目で子どもたちを見守ることができるようになります
- ④学校の活性化が子どもたちの元気につながり、まち全体の活性化にもつながります

たぶんこうなるん じゃないか 劇場

3年生の課外授業で、ほうき作りを体験
するようなことはできるだろうか。

校長

先生

市内では昔、ほうき作りが盛んだったと聞きます。もしかしたらそれについて詳しい人がいるかもしれませんが、探してみます…。

これまでの学校

地域協働学校が始まると



もしかしたらそれについて詳しい人がいるかもしれないので、学校運営協議会の場で聞いてみましょう。昔から地域で暮らしている人たちの話が聞けるかもしれませんね。(教育活動の充実)

先生



委員A

私の知り合いの△○さんの家では、昔ほうきを作っていたはずですよ。今度自治会の会合で顔を合わせるので、お話を聞いてみますよ。(コミュニティの広がり)



ほうき作りについて学ぶなら、せっかくなら材料を育てるところから実際にほうきの形になるまで、数カ月かけて子供たちに体験してもらいたいのではないのでしょうか。(地域の知恵で学校を活性化)

委員B

学校運営協議会



地域協働学校 本格始動

平成31年4月、市内の全小学校・大井西中学校で始まります。

学校が、そこにあります。地域の中では誰もが知る施設で、その存在はともにも大きなものです。

これまで学校と地域の関係は、時に密接に、時に緩やかに支え合うものでした。

地域協働学校。この制度の導入と同時に、各学校で「学校運営協議会」を立ち上げます。地域と学校で共に子どもを育てていくため、それぞれの目標を共有し、それぞれが果たす役割を話し合う場をつくります。

何が変わる？何を变える？

「地域協働学校」という学校を新たに設置するわけではありません。地域の中の学校、という位置付けを明確にしようとする取り組みです。

では、この取り組みで、いったい何が変わるのでしょうか。

学校運営を「関係者のもの」から「誰もが関わるもの」へと変えていくため、この制度をスタートします。地域と学校との関わりの中で、具体的にどんな場面で、どんなことが行われるようになるのかを紹介しましょう。

学校運営協議会

まず、学校・保護者と「それ以外」の人たち(地域の人など)が、話し合える場所をつくる。そのた

めに置くのが、学校運営協議会です。地域協働学校の取り組みのエンジンとなる会議で、これまで学校を支援してきたPTAなどのほか、地域に住む人たちにも、広くメンバーに加わっていただくことを目指しています。

拡大し、本格始動

平成29年度に市内の2つの小学校をモデル校に指定し、この制度の市内全校での導入を見据えて、取り組みを実施してきました。モデル校で出た課題や成果を踏まえ、今月から市内の全小学校と大井西中学校でスタートします。来年度には残りの中学校も全て導入する予定です。

地域協働学校の発展が、地域の活性化にもつながっていく仕組みになるよう、取り組みが始まります。

まずは私たちにお任せください

大井小学校 校長 本川 秀知さん

これまで以上に地域と共に歩んでいけるという期待感があります。

学校運営協議会では、お互いのことを知ることが大切だと思います。相手の立場を考え、それぞれが果たす役割を明確にして、協働して学校や地域をつくっていきます。



大井小学校学校運営協議会委員 荻原 豪さん

学校運営協議会で定期的集まることで、地域のネットワークが強くなり、もっと良い方向にいくことを期待しています。

子供たちが安全に楽しく、明るく学校に行ける地域を作るために、さまざまなことを話し合いながら、できることをやっていきたいです。



福岡小学校 校長 宮下 宏樹さん

福岡小は伝統があり、地域の皆さんに支えていただいています。

上福岡歴史民俗資料館や上福岡図書館など地域にある拠点の施設と連携した取組を始めました。保護者・地域の方々と「どんな子供を育てていくか」を共有していきたいです。



大井西中学校学校運営協議会委員 松本 健治さん

多くの人が学校に興味を持ち、子供たちとたくさん接する地域づくりをしたいです。まずは学校運営協議会で、地域のメンバーとコミュニケーションを取ることから始め、みんなで協働して学校を中心とする地域を作っていきます。



大井西中学校 校長 山崎 祐一さん

今まで地域の方が、学校に愛情を注ぎ支えてくれました。その関係をベースに、率直に話し合える場ができることは期待が大きいです。

学校も地域も Win-Win の関係になるよう、まずは基礎作りから一歩一歩進めていきたいです。



福岡小学校学校運営協議会委員 中西 伸子さん

子どもたちには、色々な世代の人と関わり、様々な体験や経験をする中で総合的に成長してもらいたいと思っています。

学校を核として、学校・家庭・地域が「一つの輪」になって一緒に子供を育てていきたいと考えています。



西小学校 校長 佐藤 公誠さん

子どもたちに将来求められる力を身につけさせたい、知性・感性を育てたい、家族以外の人とも繋がってほしいと思っています。

教育課程を地域や学校に開き、協力して子どもたちを教え育てていくことで、地域の活性化と人材育成にもつなげたいです。



西小学校学校運営協議会委員 宮内 英治さん

地域協働学校の円滑な運営に努め、子供たちが地域に触れ合う機会を増やしていきたい、いろいろな経験をさせてあげたいと思います。

そのために、若い保護者に活躍していただき、町内会・自治会などを活性化させることにもつながってほしいです。



子どもたちの元気は、地域の元気

地域と学校が連携することで生まれる好循環

学校・地域が元気に

好循環

連携強化

当事者意識

地域の元気の源に
地域協働学校が目指す「地域と共にある学校」を実現し、好循環を生み出したい。そんな思いで制度の発展を目指しています。
学校と地域が一体となり、それぞれの役割や責任を明確にし、学校を核とした地域コミュニティを育てるために、まず必要な要素は「当事者意識」です。好循環の第一歩を踏み出すための取り組みを今後も続けていきます。
地域の中で育った子どもたちが、地域の子どもたちを育てる大人になる。そんな好循環は次の世代、またその次の世代へと持続していくことができます。



▲スマイルボウリング



▲工作教室

これまで2年間にわたり市内のモデル校2校で、地域の特性を生かしながら、取り組みを実践してきました。その一例を紹介します。
上野台小学校
保護者や地域の人たちによる学校への支援が活発な地域です。また、新しい住宅が増えたこともあり、子育て世代を中心とした人口増が大きな地域でもあります。

参加した 児童の声

授業の中や行事などで地域の皆さんに教えてもらうことが増えました。普段の授業と違い、特に、地域のことについて調べただけでなく、昔のことなどを実際に教えてもらえるのが勉強になるし、うれしいです。地域の皆さんを身近に感じるようになりました。

これからも、みんなで楽しく仲良くできる東台小学校にしていきたいです。

東台小学校 5年
まつばら けんた
松原 健太さん



▲プログラミング授業

古くから地域に住んでいる人が多く、地域住民同士のつながりも深い地域です。また、市内で最も新しく開校した学校ということもあり、施設・設備が整っています。学校施設を活用しながら、地域の協力者の人と、教育活動の企画・立案・運営に取り組んできました。

▼救急法講習会



参加するには？

まずは元PTAや学校応援団など、これまで学校運営を側面から支援していただいていた人たちを中心に協議会を組織し、制度をスタートさせます。

これまでの枠にとらわれないアイデアや、地域の課題についての意見を広く活用していくためには、多くの人の参加が欠かせません。学校の教育計画を中心にして地域の課題解決、活性化につなげていくための原動力にもなります。

保護者だけでなく、地域に住み、学校や子どもたち、地域のために活動したいという気持ちがある人なら、どんなでも参加できます。

活動のすそ野が地域の中に広がっていくことが、この制度の成功の鍵。「少しでも興味湧いた」「この制度のこの部分が分からない」など、お気軽にお問い合わせください。

問 学校教育課

TEL 220・2085